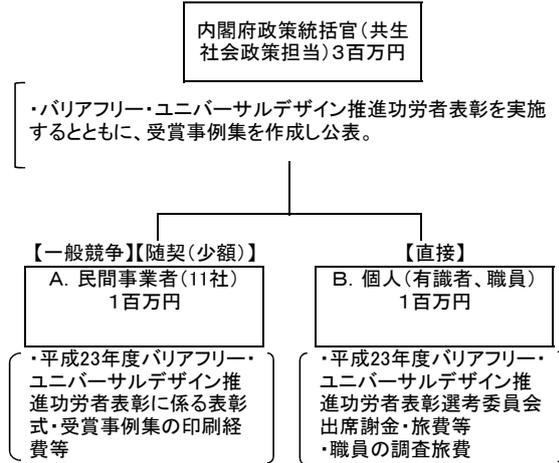


平成24年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	バリアフリー・ユニバーサルデザイン施策推進経費		担当部局	政策統括官(共生社会政策担当)	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	総合調整第2担当	参事官 安部 雅俊			
会計区分	一般会計		施策名	50バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する調査研究等				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱 (平成16年6月1日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)		関係する計画、通知等	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領 (平成13年11月6日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績のあった者を顕彰し、その優れた取組を広く普及させること等を通じ、バリアフリーやユニバーサルデザインが当然のこととして理解され、共生社会の実現が図られることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、顕著な功績又は功労のあった個人又は団体に対して、内閣総理大臣表彰又は内閣府特命担当大臣(高齢社会対策又は障害者施策担当)から表彰するとともに、事例集を作成し、ホームページでの公表等により普及を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	8	11	7	6	5	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	8	11	7	6	5		
	執行率(%)	4	5	3				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	バリアフリーの認知度			%	91.4%	94.3%	92.9%	100%
			達成度	%	91.4%	94.3%	92.9%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰			回数	1 (1)	1 (1)	1 (1)	— (1)
単位当たり コスト	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰経費(2.5百万円/1単位)		算出根拠	X=2.5百万円(バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の23年度決算額) Y=1回(実施回数)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	3	3	執行実績を踏まえた積算の見直しによる要求額の減				
	職員旅費	0	0					
	委員等旅費	1	1					
	庁費	2	1					
計	6	5						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰することにより今後の活動を支援するとともに、優れた取組を広く普及することは、バリアフリー・ユニバーサルデザインに対する国民の理解を深めるためにも、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱に基づき確実に実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	表彰手続について、外部発注の見直しによりコスト削減を図っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関しては、一部の関係者のみによる取組とするのではなく、国民一人一人の課題であると考え、社会全体で取組をすすめていくことが重要であり、障害者や高齢者等の自立した日常生活や社会生活を確保するための取組の普及・啓発を一層促進することが必要である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、選考については有識者で構成される委員会の意見を聴取したうえで決定しており、事務全般については、担当職員が直接実施している。 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について、国民の理解の促進・拡充に向け、より効果的な手法を検討する。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業効果がどの様に政策としての効果に繋がっているのか検証を行うべき、また、予算執行率の低さ(34%)の内容を分析し、概算要求に反映すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱の見直しの際、施策の進捗状況の把握を行うこととしている。 ・執行実績を踏まえ、調査研究費の積算の見直しを行い、概算要求額の縮減を図っている。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
(事業仕分け第1弾) 事業番号:1-15普及・啓発等((5)バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進) WGの評価結果:予算要求の縮減(1/3程度縮減) とりまとめコメント: 内閣府の役割に期待する意見がある一方で、各事業ともまだまだ見直しがあってもよいのではないかという評価が多かった。 当ワーキングとしては、、予算要求の1/3程度を縮減することを結論とする。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0128	平成23年行政事業レビュー	0129

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記
 載)

A.宮嶋印刷株			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推 進功労者表彰受賞事例集	1			
その他	消費税	0			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間事業者(11者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮嶋印刷(株)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰受賞事例集印刷製本	1	随契(少額)	-
2	(有)丸の内常盤家	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰式会議費	0	随契(少額)	-
3	(株)双文社	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会資料印刷製本	0	随契(少額)	-
4	扶桑速記印刷(株)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会速記	0	2者	-
5	(株)東京工芸舎	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰記念品(盾)	0	随契(少額)	-
6	(社福)東京聴覚障害者福祉事業協会	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等手話通訳	0	随契(少額)	-
7	ニッコー観光バス(株)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰式バス借料	0	随契(少額)	-
8	(株)東京写真イメージング	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰式記念写真	0	随契(少額)	-
9	(株)東京書枝房	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰状揮毫	0	随契(少額)	-
10	公益社団法人静岡県聴覚障害者協会	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰現地調査手話通訳	0	随契(少額)	-